

公開シンポジウム

クリエイティブ・アーツ・セラピーと子ども支援

ー表現活動が持つ可能性とは？創造性を生きる力につなげるためにー

人間は誰しも、表現への欲求とそれから学ぶ力を持って生まれてきます。特に言語表現が未熟な子どもの時代は、五感を通して世界を探索し、からだ全体で表現する時期です。この時期の経験は、やがて生きる力を育む大切な土壌となります。

クリエイティブ・アーツ・セラピーはアート、ダンス／ムーブメント、ドラマ、ミュージックといったアーツ（諸芸術）を意図的に用いる心理療法です。セラピストは、子ども達が表現を通して自ら成長していく過程を見守ります。このシンポジウムでは、子どもの支援において「アーツ」がどのような役割を担うのか、その可能性をみなさんと考えたいと思います。



参加対象者

- ・「子どもの発達や成長の支援について学びたい」「集団生活や学校生活に課題を感じている」保護者の方
- ・子どもの支援に関わる専門家の方
- ・子どもの療育、相談業務に関わる方
- ・地域で活動をされている諸団体の方
- ・特別支援や教育相談に関わる教育関係の方
- ・表現を取り入れた支援に興味をお持ちの方
- ・教育、福祉、医療、心理系の学生

日時 2010年6月26日（土）10:00～16:15

会場 がんばれ！子供村 全館
（東京都豊島区雑司ヶ谷3-12-9）

アクセス：JR・東京メトロ・西武池袋線・東武東上線 池袋駅徒歩10分
（東京音楽大学を目印にお越し下さい）
東京メトロ 雑司ヶ谷駅1番出口徒歩6分
都電荒川線 鬼子母神前駅徒歩5分



参加費 無料

定員 70名（先着順）

◆申込方法 下記内容を記載の上、シンポジウム事務局までお申し込みください。

①代表者氏名 ②参加人数 ③所属などあれば ④参加動機

メール info@apconcept.jp FAX 03 (5356) 8458

◆申込開始 平成22年4月26日（月）

◆プログラム

	4 階研修室	3 階プレイルーム
10:00-10:30	講義「クリエイティブ・アーツ・セラピーとは」	（4 階研修室）
10:30-12:00	基調講演「表現のもたらす癒やしの世界一心の相談室から見えるもの」 講師 高良 聖氏（明治大学文学部社会心理学科教授）	（4 階研修室）
13:30-14:15	分科会① 「トレーニングを超えた、関わりの中で育まれる人間力 ：教育相談におけるアートとドラマのグループ活動から」	分科会② 「『聴く』という体験がもたらすもの ：特別支援に生かすミュージックセラピー」
14:30-15:15	分科会③ 「不登校支援の現場から ：こころとからだのあり様」	分科会④ 「子どもの世界に寄り添うコツ ：ドラマにおける役割体験を通して」
15:30-16:15	分科会⑤ 「クリエイティブ・ミュージックセラピー ：特別支援におけるグループの実践」	分科会⑥ 「アーツを通して子どもを知る、子どもと語る ：ファミリーアートセラピーの視点から」

◆主催 N-CAT/APCONCEPT ◆共催 日本ドラマセラピー研究所 ◆後援 豊島区教育委員会

◆お問合わせ シンポジウム事務局（info@apconcept.jp）

※このシンポジウムは東京インターナショナルラーニングコミュニティからの寄付金にて運営しております。

◆プログラム紹介

1. 講義「クリエイティブ・アーツ・セラピーとは」

2. 基調講演「表現のもたらす癒やしの世界 一心の相談室から見えるもの」

誰かに自分を知ってほしい…。人から理解されたい…。これは人間の自然な願望です。心の相談室では、そんな気持ちが満たされないで心のバランスを失う人々を多々見かけます。みんな自分のことでいっぱい他者のことを思うゆとりがなくなっている結果なのでしょう。心理カウンセリングの領域では、そうしたときの心の援助方法の1つに「安全に表現してみる」ということがあります。そう、「表現無くして癒やし無し」。皆さんと一緒に表現のもたらす癒やしの世界を考えましょう。

講師：高良 聖（たからきよし） 明治大学文学部心理社会学科教授・博士（医学）/臨床心理士

上智大学文学部教育学科心理学専攻卒業、上智大学大学院博士後期課程臨床心理学専攻満期修了。獨協医科大学病院精神神経科臨床心理士を経て、2004年より現職。専門領域は、臨床心理学、表現精神病理学、集団精神療法。日本心理劇学会理事長、日本集団精神療法学会常任理事、日本芸術療法学会理事。主な著書に「雰囲気としての心理面接—そこにある10の雰囲気—」（日本評論社）「現代のエスプリ『サイコドラマの現在』」編集（至文堂）、「警告！早期教育が危ない」（編著）（日本評論社）等。好きなことは、エビスを飲みながらタイガースを応援すること。

3. 分科会①「トレーニングを超えた、関わりの中で育まれる人間力 一教育相談におけるアートとドラマのグループから」

落ち着きがない、友達とうまく遊べない、登校を渋るなど、学校生活に課題のある小学生を対象にしたグループの経過をもとに、表現活動とグループのもたらす治療的側面を見直します。子どもの変化やアンケート結果から効果についても検証します。

講師：倉石聡子（くらいしあきこ） 東京都スクールカウンセラー、アートセラピスト/臨床心理士

Notre Dame De Namur大学院マレッジ・アンド・ファミリーセラピー/アートセラピー専攻修士課程修了。

分科会②「『聴く』という体験がもたらすもの 一特別支援に生かすミュージックセラピー」

真に「聴く」ということはどういうことか？聴く・聴いてもらうという体験が子どもにどのような影響をもたらすのか？特別支援での実践に即しながら、「聴く」という営みに含まれる臨床的意義について、体験的に紹介していきます。

講師：鈴木琴栄（すずきことえ） NYノードフ・ロビンズ音楽療法センター、ミュージックセラピスト/全米・日本音楽療法学会認定 NewYork大学大学院ミュージックセラピー修士課程修了/ノードフ・ロビンズ音楽療法センター音楽療法士ディプロマ取得。

分科会③「不登校支援の現場から 一こころとからだの有り様」

不登校をどのようにとらえるのか。どのような支援が求められているのか。学校にできること、保護者にできること、地域にできることなど、現場で感じていることを、こころとからだの有り様と共に伝えたい。

講師：天野敬子（あまのけいこ） 不登校・ひきこもり研究所代表、中野区スクールソーシャルワーカー、精神保健福祉士/ダンスセラピスト 大正大学大学院人間学研究科社会福祉学専攻修士課程修了。

分科会④「子どもの世界に寄り添うコソ ードラマにおける役割体験をとおして」

子どもたちは、ごっこ遊びや空想遊びの中で様々な役割を疑似体験しながら成長しています。この分科会では、この誰にでもある能力、役割体験をとおしての学びについて考えます。また、「役割」という視点を持ち込むことで見えてくる子どもの世界について紹介します。

講師：井口雅子（いぐちまさこ） 練馬区立総合教育センター心理相談員、ドラマセラピスト/チャイルド・ライフ・スペシャリスト Kansas State University大学院演劇学科ドラマセラピー専攻修士課程修了。

分科会⑤「クリエイティブ・ミュージックセラピー 一特別支援におけるグループの実践」

他者との関係性が持てない、コミュニケーションを築くことが難しい小学校高学年の男子児童のグループの実践。即興演奏を創造的に用いるアプローチを通して、グループがどのように発展し、それが子どもの自己成長にどんな影響を与えていくかビデオを交えて紹介していきます。

講師：鈴木琴栄（すずきことえ）

分科会⑥「アーツを通して子どもを知る、子どもと語る 一ファミリーアートセラピーの視点から」

絵や創作、書字など日常の中の様々な表現には、子どもを理解し、関わりを深めるための様々なサインが隠されています。子どものメッセージを読み解き、大人と子どもが創作の世界を共有することの大切さを、家族の事例とミニワークを通して考えていきたいと思います。

講師：倉石聡子（くらいしあきこ）

◆CAT（クリエイティブ・アーツ・セラピー）とは

表現活動を意図的に用いる諸芸術療法、アートセラピー、ダンス/ムーブメントセラピー、ドラマセラピー、ミュージックセラピー、表現アーツセラピーの総称です。CATは、人が本来持つ創造性を生かすことで自己治癒力を高め、より豊かに、そしてより健やか生きることを目指します。CATの主な目的として、心身の不調やさまざまな障がいの回復、機能の維持や改善、ストレスの緩和や予防、リラクゼーションの促進、モチベーションや生活の質の向上、行動の変容、自己洞察の深化、その他、自尊心や自己肯定感、主体性や柔軟性、創造力や表現力などの向上があげられます。CATは、誰もが持つ創造性を活かすことにより、性別・年齢・障害を問わず、あらゆる対象者の自己成長や自己実現を目指し、医療・福祉・教育・心理、司法、産業の分野で幅広く柔軟に適用されます。

◆主催団体について

N-CAT (Network of Creative Arts Therapists)

www.n-cat.jp

N-CATは、クリエイティブ・アーツ・セラピーの専門家によるネットワークグループです。セラピスト同士が協力・連携し合い、より一層の技能向上を目指すこと、サポートシステムを作り上げていくこと、この分野に興味を持つ全ての方に信頼性の高い情報を迅速に発信すること、またクリエイティブ・アーツの可能性を信じるもの同士が、専門性という垣根を越えて互いに学びあう場を広げていくことを主な目的として活動しています。

APCONCEPT(アップコンセプト)

www.apconcept.jp

アップコンセプトは、Artful(創造性に溢れる)、Playful(遊び心に満ちる)の2つの要素を生き方に取り入れたいという願いのもと、活動しています。CAT（クリエイティブ・アーツ・セラピー）の考えに基づいた子ども・大人・親子向けプログラム、心理療法、各種ワークショップ、セミナー、研修等の企画立案、実施などを行っています。